

新日本婦人の会第197回中央委員会決定

歴史の岐路、戦争とめる！ 憲法まもる！ 女性の力いまこそ、「出会いに行く」仲間づくりを

新日本婦人の会は、第32回全国大会後、47都道府県本部大会、支部大会、情勢のもと、大会決定の

1、全国大会後の情勢と新婦人

(1) 大激動のなかで立ち上がる女性たち

トランプ米政権がベネズエラ侵略に続いてイスラエルとともにイランを先制攻撃し、高市政権がこれにひたすら追従する

「いでもたつてもいられない」と女性・市民が行動に立ち上がった。国会前と呼称して全国各地で女性たちがペンライトを手に駆け付け、「戦争反対」「憲法守れ」と声をあげる行動が急速な広がりを

高市首相が解散権の乱用で強行した衆議院選挙(2月8日投票)は、小選挙区制度により自民党が改憲発議可能な3分の



活発な議案討論

国際女性デー「女性の休日」アクションでは、新婦人は、高市政権発足後の12月の次世代国会行動で、議員要請と省庁交渉をおこないました。

会創立以来、「憲法改憲に反対、軍国主義復活を阻止します」と目的に掲げてきた新婦人、いまは役割が求められるときではありません。

2、切実な要求で運動、会員ふやしを

(1) 戦争とめる！ 憲法まもる！ 私の出会いに行く仲間づくりを

「要求いつばい、会員を包囲する仲間づくり大募集」と平和や暮らしの切実な要求で声をあげ、運動を止げながら、「仲間を増やして戦争させない」「草の根から国

11年前の戦争法反対や今回の「女性の休日」の経験を活かして、赤を連帯カラーとして、レッドアクションにとりくみま

「消費税5%への減税」「軍拡増税」やOTC類似負担増、高額療養費上限引き上げ反対、不登校や学校統廃合、公共交通など、当事者の願いや実態を集め、来春の統一地方選挙も意識して自治体や

第197回中央委員会開かれる

新日本婦人の会は3月28日、東京都内で第197回中央委員会を開催しました。米山会長のあいさつ後、由比ヶ浜事務局長が中央委員会議案を提案、活発な討論をおこない、議案と討論のまとめを採択しました。

討論のまとめ



由比ヶ浜事務局長

「出会いに行く」仲間づくりが全国で

特徴の二つ目は、高市政権に対するたたかいのなか、学び、おしゃべりを広げ、アンケートやシール投

原登ヒロ・再稼働反対、教育デジタル化の問題、豪雪被害や公立高校の統廃合、小学校の着替えを男女別になど当事者の声で運動し、大阪では来春の統一地方選挙に向けて3万人と対話し、維新政治を変えよう、と運動と仲間づくりを、体にとりくんでいます。

全国大会から5カ月、この間の情勢はかつてなく劇的に変化し、とりわけ、戦争や改憲に反対する女性・市民の行動が、日本の新たなたたかいとして広がっています。

2月27日の官邸前の、憲法を守る緊急アクションに3000人参加から、8000人1万1000人と回を追うごとに同様の集会への参加の輪が広がり、3月25日の夜は雨が降りしきるなか、2万4000人が集まりました。



新日本婦人の会会長 米山 淳子

あいさつ

女性・市民の新たなたたかい、今こそ新婦人大きく

新日本婦人の会会長 米山 淳子

99条などの条文を読み上げながら憲法を守る思いを語っているのも新鮮です。こうした新しい形のとりくみの広がりに、改憲阻止のたたかいと大きな仲間づくりの可能性をみることができそうです。

この中央委員会で、情勢の激変と運動が動かしていることをしっかりと見え、活発な議論をお願ひし、あいさつします。



拍手に共感の発言が

特徴は、被爆80年で班主人の行動を知り出会った次世代の女性の入会が相次いでいます。戦争反対の行動とともに、要求別(サークル)が、日々の暮らしを豊かにする新たな魅力として共感を広げています。

(3) 次世代会員を迎える

「次世代会員がどんなことを求めているか、地域でどんな次世代と出会う可能性があるか、第32回全国大会の発言を読んで話し合いました。

(4) 委員会は班とともに

調査で班ごとの状況や課題を出し合い、「班の二歩前進」へ班ごもに行動しましょう。

組織づくりの課題も出し合い

特徴の三つ目は、組織づくりの課題について率直に苦勞や努力が言われたことです。組織調査で、班の困難や次世代会員がいることをつかみ、そこに援助が必要を引き寄せています。

「戦争になりそうぞ怖い」「今何かしなければ」とい